

まえがき

本資料「農業・農村における多面的機能の評価と保全」は、農林水産政策研究所のプロジェクト研究「農業の多面的機能発揮のための政策評価分析」（平成16年度～平成18年度）の研究成果をとりまとめたもので、平成17年12月に刊行した資料第1号「多面的機能政策の諸相と今後の展開」に続く資料第2号である。

本資料は6章から構成されているが、多面的機能を定量的に評価する手法として環境会計を取り上げた部分（第1章及び第2章）、フランスにおける雇用支援政策の展開を取りまとめた部分（第3章）、多面的機能の保全・管理に関する実証分析（第4章から第6章まで）の3つの部分に大別される。

第1章及び第2章では、他の産業分野で広く用いられている環境会計を取り上げ、個別経営体を対象としたミクロ環境会計、国・地域を対象としたマクロ・メゾ環境会計を取り上げ、農業に適用する意義、農業に適用した場合の改良を要する点などを明らかにした。

第3章では、フランス農業における雇用側面を中心に農業の多面的機能政策の展開をフォローし、農業・農村部門での雇用支援政策の評価を紹介する。

第4章から第6章まででは、様々の方面から多面的機能の保全・管理の実証分析を行った。第4章では、千葉県安房地方での農家家計調査データを用いて、農家レベルで耕作放棄の要因解明を行った。第5章では、進化ゲーム理論を用いて中国雲南省における灌漑管理の成果と農民の協調行動を分析した。第6章では、中国雲南省紅河州元陽県の事例に基づき、農村共有資源の共同管理と所得移転に関する考察を行った。

農業の多面的機能については国際的にも日本においても多様な議論が行われてきている。また、国により、地域により様々な発揮の態様があり、この様々の状況を反映して政策にも多様な態様があると思われる。先に刊行した研究資料第1号「多面的機能政策の諸相と今後の展開」とあわせて、本資料が多面的機能に関する議論に何らかの貢献ができれば幸いである。

平成19年3月

農林水産政策研究所 多面的機能研究チーム